

りかかる。夕方宿舎を予約の支庁の寮に替える。昨日あたりから大分冷え込んできた。火鉢をいれてくれる。どうも今年の夏は、北海道でも異常のようだ。夕食に出された見事な帆立貝に舌づつみを打つ。

16日(火)。東京天文台のコロナ観測小屋を訪れる。

ここは気象台のすぐ裏の突き出た崖の縁にあって、狭いながら、報道陣や見物客を避けるにはもってこいの場所である。ニューギニア以来おなじみのコロナ撮影用の四連カメラも、もうすっかり整備が終わっているようだ。

夕刻天文台の大沢先生、水沢の古川氏と市役所を訪れ、市長室にて各報道機関に日食当日の協力方をお願いする。なかなか結論が出ない。結局全部の報道機関が出揃う18日に再会ということで物分れ。夜天文台の宿舎に古川氏と共に大沢先生を尋ね18日の対策を相談する。

18日(木)。やっと分光儀の組立てを完了。湿気のためか水晶時計の調子が不安定である。16日撮影機のタイミング装置として新に作ったネオン計数管の撮影テストを行なう。今回使用の分光儀はF=12で、頂角30°のSF2対物プリズムを使用、分散は λ 4100Åで97Å/mm、ASA350の富士スーパーパンで毎秒16コマ撮りの予定である。今度の日食は日出直後なので、イクステンクションにより果してフラッシュが見えるかどうか心配である。

19日(金)。午後快晴。13日以来始めて太陽を拝む。急いでコリメーターを使つての露出のテストやファインダーの調整を行なう。ほぼ準備は終わった。ただ日出のテストが出来なかったのが心残りである。

16日に約束した報道記者との会合が、定刻5時を大分過ぎてようやく開かれ、延々2時間の協議の末、やっと当日は3時半迄フラッシュ撮影を認めるという線で妥協する。

20日(土)。いよいよ明日本番である。朝から又雲がふえだした。結局網走入り以来晴れたのは昨日1日だけ、全くついていない。一応機械のセットは終わった。後は運を天にまかすより仕方があるまい。

夕食後、タイミング装置のピント調整の仕上げがまだ残っているのですぐ天幕に入る。あたりは静まりかえ

て人の気配もない。

21日(日)午前2時。NHKの天幕も急に活気づき始めた。テレビの実況中継のため延二三十人を繰り出したの大観測陣である。

3時。そろそろ東の水平線のあたりが白み始めた。観測隊の最後の取材に駆け廻る記者や、世紀の一瞬を見に群がる人々で、あたりもなんとなく騒々しい。東の水平線には未だ雲が厚い。

3時50分。日出も間近い。観測用意!!

4時2分。突然、雲の切れ間にぼつんと赤い一点が現われたと思うと、それはぐんぐん大きさを増し、遂に三角に歪んだ赤い太陽がその姿を現わし始めた。大急ぎで天幕に飛び込みカメラをセットする。森君のミラーの調整もどかしい。たった30秒の勝負だ。冷汗がにじむ。スペクトルの赤は見えるが、肝心の紫は弱いためか見えない。刻々時が過ぎる。ファインダーにはどうやら入れた。皆既10秒前!! カメラスタート。続いて一瞬異様なよめきと拍手が何処からともなくおきる。天幕より顔を出すと、一瞬赤黒いコロナが目に飛び込む。皆既は短い、15秒で位置角の変化に合はせたミラー系に切り換えねばならぬ。再びファインダーを覗き込む。どうも弱い光だ。切り換え完了。ほっとため息が洩れる。外に出てみると、既に皆既の終わった太陽が、文字通り中空にかかったダイヤの指輪のように一際さんざんと輝いていた。

5時50分。全スケジュール終了。約束の記者会見を終え、荷造りにとりかかる。

22日(月)。午前荷造完了。午後、網走からバスで40分程のところにある原生花園を見物。ここはトーフツ湖畔に沿い長く続いた草原に群生する自然の花園で、今は赤いハマナスの花が咲き乱れ、あたり一面に甘酸っぱい香りをただよわせている。あいにくの横なぐりの雨で、折角の興趣も大分そがれたが、それでも静まりかえった湖のほとりに点々と草を食む牧牛の姿が、赤いハマナスの原野に映えて旅情をかきたてる。

23日(火)。6時網走発。僅か10日の滞在ではあったが、忘れ難い北国の町に別れを告げる。

雑 報

新彗星ペライラ 1963e 南米コルドバのペライラは

9月14日海蛇座に光度2等の尾のある新彗星を発見した。米国ハリウッドのマックルーレによると頭部の光度6等、真直ぐな淡い10.5度の尾が方位角253度の方角に見られた由である。堂平では18日早朝、薄明のはじまった東の地平線近くの雲の切れ間より光度6等のこ

の彗星が見られたが、尾は薄明のためか確認できなかった。静岡の池谷氏も同日の観測を報告されたが、ゆっくり南西に移動している。初期の主な観測位置を下記する。

1963年9月	世界時	赤経	赤緯	分点	光度	観測地
14日	9時16.0分	9 ^h 37 ^m 3	-4° 8'	1950	2等	コルドバ
16日	12 —	9 34	-5 12	—	6	ハリウッド
17日	19 25.0	9 33.5	-5 40	1950	6	堂平